

表7 家庭裁判所への係属歴

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
ある	181	26.1	82	28.0
ない	433	62.5	183	62.5
無回答	79	11.4	23	7.8

表8 周囲の薬物乱用状況

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
有機溶剤	181	26.1	180	61.4
大麻	85	12.3	110	37.5
覚せい剤	76	11.0	101	34.5
ガス	129	18.6	101	34.5
コカイン	23	3.3	53	18.1
リタリン	18	2.6	28	9.6
睡眠薬	8	1.2	16	5.5
安定剤	71	10.2	116	39.6
咳止め液	65	9.4	88	30.0
MDMA	15	2.2	28	9.6
その他	21	3.0	33	11.3

表9 本人の薬物乱用歴

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
有機溶剤	68	9.8	91	31.1
大麻	19	2.7	41	14.0
覚せい剤	5	0.7	32	10.9
ガス	75	10.8	44	15.0
コカイン	7	1.0	14	4.8
リタリン	1	0.1	2	0.7
睡眠薬	2	0.3	2	0.7
安定剤	23	3.3	41	14.0
咳止め液	17	2.5	31	10.6
MDMA	3	0.4	14	4.8
その他	8	1.2	15	5.1

表10 有機溶剤・大麻・覚せい剤の乱用頻度の年代変化(単位:%)

	1994	1996	1998	2000	2002	2004	2006
有機溶剤	41.2	37.3	30.3	26.4	21.6	14.3	9.8
大麻	5.5	6.7	4.8	5.0	4.9	4.9	2.7
覚せい剤	1.2	1.7	3.9	5.0	2.5	1.6	0.7

表10 有機溶剤・大麻・覚せい剤の乱用頻度の年代変化(単位:%)

	1994	1996	1998	2000	2002	2004	2006
有機溶剤	59.6	50.6	48.5	52.3	46.5	44.2	31.1
大麻	22.0	19.0	14.4	14.7	15.9	15.9	14.0
覚せい剤	6.6	10.8	16.9	15.2	13.6	12.4	10.9

表12 地域別薬物乱用頻度(男性)

	単位:%			
	有機溶剤	大麻	覚醒剤	ブタン
東北・北海道(n=50)	12.0	0.0	0.0	12.0
関東(n=172)	9.3	3.5	0.0	11.6
中部(n=88)	8.0	0.0	0.0	6.8
関西(n=130)	14.6	3.8	0.8	10.0
中国・四国(n=106)	3.8	9.0	0.0	7.5
九州(n=72)	8.3	1.4	0.0	8.3

表13 地域別薬物乱用頻度(女性)

	単位:%			
	有機溶剤	大麻	覚醒剤	ブタン
東北・北海道(n=28)	14.3	3.6	3.6	10.7
関東(n=37)	32.4	10.8	13.5	21.6
中部(n=17)	23.5	0.0	0.0	0.0
関西(n=47)	36.2	12.8	6.4	14.9
中国・四国(n=59)	23.7	5.1	5.1	11.9
九州(n=48)	27.1	20.8	6.3	6.3

表14 自分の周囲の有機溶剤乱用による精神症状発現者

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
いた	59	8.5	98	33.4
いない	605	87.3	177	60.4
無回答	29	4.2	18	6.1

表15 有機溶剤入手難さ

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
簡単に手に入る	125	18.0	108	36.9
少々苦労するが、 なんとか手に入る	71	10.2	42	14.3
ほとんど不可能だ	48	6.9	13	4.4
絶対不可能だ	259	37.4	54	18.4
無回答	190	27.4	76	25.9

表16 有機溶剤乱用開始年齢(乱用者のみ)

	男性(n=68)		女性(n=91)	
	人数	%	人数	%
10歳以下	2	2.9	5	5.5
11歳	4	5.9	2	2.2
12歳	9	13.2	20	22.0
13歳	27	39.7	30	33.0
14歳	16	23.5	23	25.3
15歳以上	0	0.0	1	1.1
経験はあるが年齢 はおぼえていない	6	8.8	2	2.2
無回答	4	5.9	8	8.8

表17 最もしていた時の有機溶剤乱用頻度(乱用者のみ)

	男性(n=68)		女性(n=91)	
	人数	%	人数	%
今まで1, 2回数回以上	37	54.4	30	33.0
ほとんど毎日	19	27.9	42	46.2
無回答	7	10.3	10	11.0
	5	7.4	9	9.9

表18 有機溶剤乱用への態度(男性)

	有機溶剤乱用			
	乱用者(n=68)		非乱用者(n=606)	
	人数	%	人数	%
法律で禁じられているから、すべきではないと思う	16	23.5	446	73.6
法律で禁じられているが、少なからずかわらないと思う	27	39.7	67	11.1
法律で禁じられているが、それを守る必要は全然ないと思う	21	30.9	36	5.9
無回答	4	5.9	57	9.4

表19 有機溶剤乱用への態度(女性)

	有機溶剤乱用			
	乱用者(n=91)		非乱用者(n=178)	
	人数	%	人数	%
法律で禁じられているから、すべきではないと思う	22	24.2	112	62.9
法律で禁じられているが、少なからずかわらないと思う	41	45.1	38	21.3
法律で禁じられているが、それを守る必要は全然ないと思う	27	29.7	19	10.7
無回答	1	1.1	9	5.1

表20 有機溶剤乱用禁止への態度(男性)

	有機溶剤乱用			
	乱用者(n=68)		非乱用者(n=606)	
	人数	%	人数	%
当然だと思う	24	35.3	398	65.7
しかたないことだと思う	16	23.5	16	2.6
止しなくてもいいのではないかと思う	13	19.1	14	2.3
法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う	10	14.7	49	8.1
無回答	5	7.4	69	11.4

表21 有機溶剤乱用禁止への態度(女性)

	有機溶剤乱用			
	乱用者(n=91)		非乱用者(n=178)	
	人数	%	人数	%
当然だと思う	18	19.8	97	54.5
しかたないことだと思う	26	28.6	31	17.4
止しなくてもいいのではないかと思う	21	23.1	6	3.4
法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う	23	25.3	28	15.7
無回答	3	3.3	16	9.0

表22 有機溶剤の知識(男性)

	有機溶剤乱用			
	乱用者(n=68)		非乱用者(n=606)	
	人数	%	人数	%
急性中毒死	31	45.6	202	33.3
多発神経炎	32	47.1	200	33.0
精神病状態	53	77.9	350	57.8
無動機症候群	31	45.6	190	31.4
フラッシュバック	45	66.2	304	50.2
いずれも知らなかった	8	11.8	145	23.9

表23 有機溶剤の知識(女性)

	有機溶剤乱用			
	乱用者(n=91)		非乱用者(n=178)	
	人数	%	人数	%
急性中毒死	43	47.3	67	37.6
多発神経炎	54	59.3	84	47.2
精神病状態	80	87.9	140	78.7
無動機症候群	55	60.4	90	50.6
フラッシュバック	73	80.2	125	70.2
いずれも知らなかった	2	2.2	24	13.5

表24 有機溶剤で体験した症状(有機溶剤乱用者)

	男性乱用者(n=68)		女性乱用者(n=91)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	17	25.0	20	22.0
フラッシュバック	9	13.2	21	23.1
多発神経炎	3	4.4	6	6.6
無動機症候群	14	20.6	25	27.5

表25 有機溶剤の薬害知識と乱用抑止(有機溶剤乱用者)

	男性乱用者(n=68)		女性乱用者(n=91)	
	人数	%	人数	%
しなかったと思う	16	23.5	21	23.1
やはりしていたと思う	35	51.5	58	63.7
無回答	17	25.0	22	24.2

表26 施設退所後、乱用しないと思うか(有機溶剤乱用者)

	男性乱用者(n=68)		女性乱用者(n=91)	
	人数	%	人数	%
絶対やらないと思う	50	73.5	49	53.8
多分やらないと思う	8	11.8	30	33.0
多分やると思う	3	4.4	8	8.8
絶対やると思う	2	2.9	1	1.1
無回答	5	7.4	3	3.3

表27 退所後、乱用すると思う理由
(退所後「多分やる」「絶対やる」と答えた者、重複回答あり)

	男性乱用者(N=5)		女性乱用者(N=9)	
	人数		人数	
誘われたらやと思うから	2	40.0	5	55.6
今もやりたいと思っているから	2	40.0	2	22.2
いやなことがあったらやと思うから	1	20.0	5	55.6
なんとなくそう思うから	1	20.0	4	44.4

表29 ブタン入手困難さ

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
簡単に手に入る	252	36.4	120	41.0
少々苦労するが、なんとか手に入る	28	4.0	23	7.8
ほとんど不可能だ	29	4.2	11	3.8
絶対不可能だ	202	29.1	53	18.1
無回答	182	26.3	86	29.4

表30 ブタン乱用開始年齢(乱用者のみ)

	男性(n=75)		女性(n=44)	
	人数	%	人数	%
10歳以下	0	0.0	1	2.3
11歳	4	5.3	2	4.5
12歳	4	5.3	8	18.2
13歳	31	41.3	16	36.4
14歳	15	20.0	9	20.5
15歳以上	5	6.7	1	2.3
経験はあるが年齢はおぼえていない	2	2.7	2	4.5
無回答	14	18.7	5	11.4

表31 最もしていた時のブタン乱用頻度(乱用者のみ)

	男性(n=75)		女性(n=44)	
	人数	%	人数	%
今まで1, 2回	20	26.7	21	47.7
数回以上	31	41.3	15	34.1
ほとんど毎日	10	13.3	3	6.8
無回答	14	18.7	5	11.4

表32 ブタン乱用への態度(男性)

	ブタン乱用			
	経験有(n=75)		経験無(n=594)	
	人数	%	人数	%
すべきではないと思う	13	17.3	261	38.8
少々ならかまわないと思う	33	44.0	31	4.6
かまわない	24	32.0	20	3.0
知らなかった	3	4.0	243	36.1
無回答	2	2.7	39	5.8

表33 ブタン乱用への態度(女性)

	ブタン乱用			
	経験有(n=44)		経験無(n=217)	
	人数	%	人数	%
すべきではないと思う	8	18.2	83	38.2
少々ならかまわないと思う	16	36.4	28	12.9
かまわない	18	40.9	26	12.0
知らなかった	2	4.5	70	32.3
無回答	0	0.0	10	4.6

表34 ブタンの知識(男性)

	ブタン乱用			
	経験有(n=75)		経験無(n=594)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	20	26.7	106	17.8
急性中毒死	22	29.3	82	13.8
いずれも知らなかった	41	54.7	407	68.5

表35 ブタンの知識(女性)

	ブタン乱用			
	経験有(n=44)		経験無(n=217)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	20	26.7	55	18.6
急性中毒死	18	24.0	42	14.2
いずれも知らなかった	17	22.7	134	45.4

表36 ブタンで体験した症状(乱用者のみ)

	男性乱用者(n=75)		女性乱用者(n=44)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	13	17.3	10	22.7
フラッシュバック	14	18.7	7	15.9

表37 ブタンの知識と乱用抑止(乱用者のみ)

	男性乱用者(n=75)		女性乱用者(n=44)	
	人数	%	人数	%
しなかったと思う	30	40.0	11	25.0
やはりしていたと思う	27	36.0	25	56.8
無回答	18	24.0	8	18.2

表38 施設退所後、乱用しないと思うか(ブタン乱用者のみ)

	男性乱用者(n=75)		女性乱用者(n=44)	
	人数	%	人数	%
絶対やらないと思う	55	73.3	24	54.5
多分やらないと思う	12	16.0	10	22.7
多分やと思う	3	4.0	6	13.6
絶対やと思う	2	2.7	2	4.5
無回答	3	4.0	2	4.5

表39 退所後、乱用すると思う理由
(退所後「多分やる」「絶対やる」と答えた者のみ)

	男性乱用者(n=5)		女性乱用者(n=8)	
	人数	%	人数	%
誘われたらやと思うから	2	40.0	4	50.0
今もやりたいと思っているから	1	20.0	1	12.5
いやなことがあったらやと思うから	2	40.0	4	50.0
なんとなくそう思うから	0	0.0	2	25.0

表40 自分の周囲の大麻乱用による精神症状発現者

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
いた	48	6.9	73	24.9
いない	603	87.0	202	68.9
無回答	42	6.1	18	6.1

表41 大麻入手困難さ

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
簡単に手に入る	50	7.2	70	23.9
少々苦労するが、なんとか手に入る	66	9.5	51	17.4
ほとんど不可能だ	65	9.4	21	7.2
絶対不可能だ	331	47.8	71	24.2
無回答	181	26.1	80	27.3

表42 大麻の知識

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
知らなかった	225	32.5	48	16.4
関心がなかった	313	45.2	145	49.5
見てみたかった	42	6.1	28	9.6
試してみたかった	34	4.9	44	15.0
無回答	79	11.4	28	9.6

表43 大麻乱用開始年齢(乱用者のみ)

	男性(n=19)		女性(n=41)	
	人数	%	人数	%
10歳以下	0		1	
11歳	1	5.3	1	2.4
12歳	1	5.3	4	9.8
13歳	8	42.1	14	34.1
14歳	3	15.8	13	31.7
15歳以上	1	5.3	4	9.8
経験はあるが年齢はおぼえていない	2	10.5	0	0.0
無回答	3	15.8	4	9.8

表44 最もしていた時の大麻乱用頻度(乱用者のみ)

	男性(n=19)		女性(n=41)	
	人数	%	人数	%
今まで1, 2回	14	73.7	18	43.9
数回以上	2	10.5	18	43.9
ほとんど毎日	0	0.0	2	4.9
無回答	3	15.8	3	7.3

表45 大麻乱用への態度(男性)

	大麻乱用			
	経験有(n=19)		経験無(n=65)	
	人数	%	人数	%
法律で禁じられているから、すべきではないと思う	5	26.3	491	75.4
法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思う	13	68.4	56	8.6
法律で禁じられてはいるが、それを守る必要は全然ないと	1	5.3	27	4.1
無回答	0	0.0	77	11.8

表46 大麻乱用への態度(女性)

	大麻乱用			
	経験有(n=41)		経験無(n=225)	
	人数	%	人数	%
法律で禁じられているから、すべきではないと思う	4	9.8	133	59.1
法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思う	26	63.4	53	23.6
法律で禁じられてはいるが、それを守る必要は全然ないと	8	19.5	18	8.0
無回答	3	7.3	21	9.3

表47 大麻乱用禁止への態度(男性)

	大麻乱用			
	経験有(n=19)		経験無(n=651)	
	人数	%	人数	%
当然だと思う	7	36.8	455	69.9
しかたないことだと思う	7	36.8	69	10.6
大麻くらい禁止しなくてもいいのではないかと思う	4	21.1	12	1.8
法律で禁じられてはいるが、個人の好きにさせればよいと思う	0	0.0	40	6.1
無回答	1	5.3	75	11.5

表48 大麻乱用禁止への態度(女性)

	大麻乱用			
	経験有(n=41)		経験無(n=225)	
	人数	%	人数	%
当然だと思う	6	14.6	127	56.4
しかたないことだと思う	17	41.5	45	20.0
大麻くらい禁止しなくてもいいのではないかと思う	5	12.2	4	1.8
法律で禁じられてはいるが、個人の好きにさせればよいと思う	12	29.3	32	14.2
無回答	1	2.4	17	7.6

表49 大麻の知識(男性)

	大麻乱用			
	経験有(n=19)		経験無(n=651)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	8	42.1	208	32.0
無動機症候群	5	26.3	139	21.4
いずれも知らなかった	8	42.1	379	58.2

表50 大麻の知識(女性)

	大麻乱用			
	経験有(n=41)		経験無(n=225)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	29	70.7	103	45.8
無動機症候群	22	53.7	77	34.2
いずれも知らなかった	8	19.5	100	44.4

表51 大麻で体験した症状(乱用者のみ)

	男性乱用者(n=19)		女性乱用者(n=41)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	2	10.5	6	14.6
無動機症候群	2	10.5	13	31.7

表52 大麻の知識と乱用抑止(乱用者のみ)

	男性乱用者(n=19)		女性乱用者(n=41)	
	人数	%	人数	%
しなかったと思う	9	47.4	6	14.6
やはりしていたと思う	7	36.8	29	70.7
無回答	3	15.8	6	14.6

表53 施設退所後、乱用しないと思うか(乱用者のみ)

	男性乱用者(n=19)		女性乱用者(n=41)	
	人数	%	人数	%
絶対やらないと思う	16	84.2	25	61.0
多分やらないと思う	3	15.8	11	26.8
多分やると思う	0	0.0	3	7.3
絶対やると思う	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	2	4.9

表54 退所後、乱用すると思う理由(退所後「多分やる」)

	男性乱用者(n=19)		女性乱用者(n=41)	
	人数	%	人数	%
誘われたらやると思うから	0	0.0	1	33.3
やら	0	0.0	1	33.3
いやなことがあったらやると	0	0.0	0	0.0
思うから	0	0.0	1	33.3
なんとなくそう思うから	0	0.0	1	33.3

表55 自分の周囲の覚せい剤乱用による精神症状発現者

	男性		女性	
	人数	%	人数	%
いた	42	6.1	81	27.6
いない	606	87.4	187	63.8
無回答	45	6.5	25	8.5

表56 覚せい剤の入手性

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
簡単に手に入る	39	5.6	66	22.5
少々苦勞するが、なんとか手に入る	57	8.2	59	20.1
ほとんど不可能だ	72	10.4	27	9.2
絶対不可能だ	346	49.9	66	22.5
無回答	179	25.8	75	25.6

表57 覚せい剤への関心

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
覚せい剤は知らなかった	166	24.0	26	8.9
関心がなかった	371	53.5	156	53.2
見てみたかった	49	7.1	33	11.3
試してみたかった	14	2.0	44	15.0
無回答	93	13.4	34	11.6

表58 覚せい剤乱用への誘い

	男 性		女 性	
	人数	%	人数	%
ある	23	3.3	65	22.2
ない	447	64.5	150	51.2
無回答	223	32.2	78	26.6

表59 覚せい剤乱用開始年齢

	男性 (n=5)		女性 (n=32)	
	人数	%	人数	%
10歳以下	0		0	0.0
11歳	0		4	12.5
12歳	1	20.0	5	15.6
13歳	1	20.0	8	25.0
14歳	1	20.0	12	37.5
15歳	0		2	6.3
経験はあるが年齢はおぼえていな	2	40.0	1	3.1
無回答	0		0	0.0

表60 覚せい剤乱用頻度

	男性 (n=5)		女性 (n=32)	
	人数	%	人数	%
今まで1, 2回	2	40.0	19	59.4
数回以上	0		8	25.0
ほとんど毎日	0		3	9.4
無回答	3	60.0	2	6.3

表61 覚せい剤の乱用方法

	男性 (n=5)		女性 (n=32)	
	人数	%	人数	%
吸引	2	40.0	14	43.8
注射	1	20.0	7	21.9
吸引と注射	0	0.0	7	21.9
無回答	2	40.0	4	12.5

表62 覚せい剤への態度 (男性)

	覚せい剤乱用			
	経験有 (n=5)		経験無 (n=64)	
	人数	%	人数	%
法律で禁じられているから、すべきではないと思う	4	80.0	530	81.8
法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思う	1	20.0	52	8.0
法律で禁じられてはいるが、それを守る必要は全然ないと思う	0	0.0	25	3.9
無回答	0	0.0	41	6.3

表63 覚せい剤への態度 (女性)

	覚せい剤乱用			
	経験有 (n=3)		経験無 (n=23)	
	人数	%	人数	%
法律で禁じられているから、すべきではないと思う	4	12.5	154	65.8
法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思う	13	40.6	50	21.4
法律で禁じられてはいるが、それを守る必要は全然ないと思う	7	21.9	21	9.0
無回答	2	6.3	9	3.8

表64 覚せい剤禁止への態度 (男性)

	覚せい剤乱用			
	経験有 (n=5)		経験無 (n=64)	
	人数	%	人数	%
当然だと思う	4	80.0	495	76.4
しかたないことだと思う	1	20.0	66	10.2
法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う	0	0.0	36	5.6
無回答	0	0.0	51	7.9

表65 覚せい剤禁止への態度 (女性)

	覚せい剤乱用			
	経験有 (n=3)		経験無 (n=23)	
	人数	%	人数	%
当然だと思う	5	15.6	148	63.2
しかたないことだと思う	13	40.6	42	17.9
法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う	13	40.6	36	15.4
無回答	1	3.1	8	3.4

表66 覚せい剤の知識(男性)

	覚せい剤乱用			
	経験有 (n=5)		経験無 (n=64)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	2	40.0	263	40.6
フラッシュバック	2	40.0	219	33.8
いずれも知らなかった	3	60.0	330	50.9

表67 覚せい剤の知識(女性)

	覚せい剤乱用			
	経験有 (n=3)		経験無 (n=23)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	22	68.8	149	63.7
フラッシュバック	24	75.0	137	58.5
いずれも知らなかった	3	9.4	66	28.2

表68 有機溶剤で体験した症状

	有機溶剤乱用			
	男性乱用者 (n=5)		女性乱用者 (n=32)	
	人数	%	人数	%
精神病状態	0	0.0	13	40.6
フラッシュバック	0	0.0	12	37.5

表69 覚せい剤の知識と抑止

	覚せい剤乱用者の知識と抑止			
	男性乱用者 (n=5)		女性乱用者 (n=32)	
	人数	%	人数	%
使わなかったと思う	1	20.0	6	18.8
やはり使ったと思う	2	40.0	20	62.5
無回答	2	40.0	6	18.8

表70 施設退所後、乱用しないと思うか(覚せい剤乱用者の)

	覚せい剤乱用者の施設退所後の乱用意向			
	男性乱用者 (n=5)		女性乱用者 (n=32)	
	人数	%	人数	%
絶対やらないと思う	5	100.0	13	40.6
多分やらないと思う	0	0.0	10	31.3
多分やると思う	0	0.0	7	21.9
絶対やると思う	0	0.0	1	3.1
無回答	0	0.0	1	3.1

表71 退所後、乱用すると思う理由(退所後「多分やる」「絶対やる」と答えた者のみ)

	退所後「多分やる」「絶対やる」と答えた者の乱用理由			
	男性乱用者 (n=0)		女性乱用者 (n=8)	
	人数	%	人数	%
誘われたらやると思うから	0	0.0	3	37.5
今もやりたいと思っているから	0	0.0	1	12.5
いやなことがあったらやると思うから	0	0.0	2	25.0
なんとなくそう思うから	0	0.0	4	50.0

調査へのお願い

この調査の目的は、薬物などに対するみなさんの考えや経験を知ることです。この調査は、厚生労働省の科学研究費によるもので、現在、全国の一般中学生でも同様な調査が行われています。

自分の名前は書く必要はありませんし、集めた用紙もコンピュータで集計しますので、誰がどのように答えたのか分かりません。したがって、答えた内容が施設での生活や退院時期に影響することはありません。どうしても答えたくない質問には答えなくてもかまいません。

各質問に対する回答は、特にことわらない限りもっともあてはまる内容の番号を一つだけ選んで○をつけて下さい。

国立武蔵野学院	医務課長	富田 拓
目白大学	教授	庄司正実

1. あなたの年齢はいくつですか？ 年齢を記入してください _____
2. 学校は？ ①小学校 ②中学校 ③高校 ④専門学校 ⑤中学卒業後で無職 ⑥就労中
3. 何年生ですか？学年を記入してください _____ 年生
4. 男性ですか，女性ですか？ ①男性 ②女性
5. 今回，この施設に入所してからどのくらいになりますか？ _____ 年 _____ ヶ月
6. あなたの身近（友達，先輩，知り合い，家族など）で以下のような薬物をやっている人はいましたか？

(ア) シンナーやトルエン（ボンド，マニキュアの除光液なども含む）	①いた ②いない
(イ) マリファナ（大麻，ハッパ，ハシッシも同じ）	①いた ②いない
(ウ) 覚せい剤（エス，スピード，シャブも同じ）	①いた ②いない
(エ) ガス（ライター用ガス，カセットコンロ用ガスなど）	①いた ②いない
(オ) MDMA（エクスタシー，エックス，Xも同じ）	①いた ②いない
(カ) コカイン（クラックも同じ）	①いた ②いない
(キ) リタリン（病気治療以外の目的で）	①いた ②いない
(ク) 睡眠薬（病気治療以外の目的で）	①いた ②いない
(ケ) 精神安定剤（病気治療以外の目的で）	①いた ②いない
(コ) ブロン薬などのセキ止め液（病気治療以外の目的で）	①いた ②いない
(サ) その他の薬物	①いた ②いない
7. あなた自身は以下のような薬物を1回でも使用したことがありますか？

(ア) シンナーやトルエン（ボンド，マニキュアの除光液なども含む）	①ある ②ない
(イ) マリファナ（大麻，ハッパ，ハシッシも同じ）	①ある ②ない
(ウ) 覚せい剤（エス，スピード，シャブも同じ）	①ある ②ない
(エ) ガス（ライター用ガス，カセットコンロ用ガスなど）	①ある ②ない
(オ) MDMA（エクスタシー，エックス，Xも同じ）	①ある ②ない
(カ) コカイン（クラックも同じ）	①ある ②ない
(キ) リタリン（病気治療以外の目的で）	①いた ②いない
(ク) 睡眠薬（病気治療以外の目的で）	①ある ②ない
(ケ) 精神安定剤（病気治療以外の目的で）	①ある ②ない
(コ) ブロン薬などのセキ止め液（病気治療以外の目的で）	①ある ②ない
(サ) その他の薬物	①ある ②ない
8. この施設に入る前，お酒（アルコール類）をどのくらい飲んでいましたか？

①飲んだことはない ②1年で数回飲んだ ③月に2，3回 ④週に2，3回かそれ以上
9. あなたの身近に「シンナー遊び」の結果，病気や異常になった人がいましたか？

①いた ②いない
10. 入所前，「シンナー遊び」に誘われたことがありますか？ ①ある ②ない
11. 施設に入る前，「シンナー遊び」のために有機溶剤（シンナー，トルエン，その他）を手に入れようとした場合，それはどの程度難しいことでしたか？

①簡単に手に入る	②少々苦勞するが，なんとか手に入る
③ほとんど不可能だ	④絶対不可能だ
12. これまでに一回でも「シンナー遊び」を経験したことがありますか？ある場合は，初めて経験した年齢を選んでください

①経験がない	②10歳以下	③11歳	④12歳	⑤13歳
⑥14歳	⑦15歳以上	⑧経験はあるが年齢はおぼえていない		

13. 施設に入る前、最もしていた時で「シンナー遊び」をどのくらいしていましたか？
 ①したことはない ②今まで1, 2回くらい ③数回以上した ④ほとんど毎日
14. 入所前から「シンナー遊び」が法律で禁止されていることを知っていましたか？
 ①知っていた ②知らなかった
15. 「シンナー遊び」をする前（したことがない人は施設入所前）、あなたは「シンナー遊び」をどう思っていましたか？
 ①法律で禁じられているから、すべきではないと思っていた
 ②法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思っていた
 ③法律で禁じられてはいるが、それを守る必要は全然ないと思っていた
16. 法律で「シンナー遊び」を禁止しているのを「シンナー遊び」をする前（したことがない人は施設入所前）どう思っていましたか？
 ①当然だと思っていた
 ②しかたないことだと思っていた
 ③麻薬・覚せい剤とちがって、シンナーくらい禁止しなくてもいいのではないかと考えていた
 ④そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思っていた
17. 「シンナー遊び」をしすぎたり繰り返したりすると、下のようなことがおこることがあります。「シンナー遊び」をする前（したことがない人は施設入所前）、「シンナー遊び」でおこることとして知っていたものすべてに○をつけてください。
 ①急性中毒死（吸っていてそのまま急に死ぬこと）
 ②多発神経炎（手足の筋肉や神経がおとろえ、物がつかめなくなったり、歩けなくなること）
 ③精神病状態（何もないのに物が見えたり声が聞こえたりする幻覚、誰もいないのに自分が見られているとか自分が噂されていると思いこんだりする妄想がでること）
 ④無動機症候群（何もする気がなくなり、学校を欠席したり仕事が長続きしなくなること）
 ⑤フラッシュバック（「シンナー遊び」をやめて吸わなくなったのに、疲れ・ストレス・飲酒などで、幻覚や妄想が出ること）
 ⑥いずれも知らなかった
18. 「シンナー遊び」の結果、上記のような精神病状態やフラッシュバックなどを体験したことがありますか？体験したことすべてに○をつけてください。（もともと「シンナー遊び」をしていない人は⑤を選んでください）
 ①精神病状態 ②フラッシュバック ③多発神経炎
 ④無動機症候群 ⑤「シンナー遊び」はしたことがない
19. 「シンナー遊び」をすると上記質問のような急性中毒死・多発神経炎・精神病状態・無動機症候群・フラッシュバックをおこすことを知っていたら「シンナー遊び」をしなかったと思いますか？（もともと「シンナー遊び」をしていない人は③を選んでください）
 ①しなかったと思う ②やはりしていたと思う ③「シンナー遊び」はしたことがない
20. この施設を出た後、「シンナー遊び」はやらないと思いますか？
 ①絶対やらないと思う ②多分やらないと思う ③多分やると思う ④絶対やると思う
21. 「③多分やると思う」「④絶対やると思う」と答えた人は、その理由を以下から選んであてはまることすべてに○をつけてください。
 ①誘われたらやると思うから ②今もやりたいと思っているから
 ③いやなことがあったらやると思うから ④なんとなくそう思うから

22. あなたの身近に「ガスパン遊び（ガスの吸引）」の結果、病気や異常になった人がいましたか？
 ①いた ②いない
23. 入所前、「ガスパン遊び」に誘われたことがありますか？ ①ある ②ない
24. 施設に入る前、「ガスパン遊び」のためのライターガスなどを手に入れようとした場合、それはどの程度難しいことでしたか？
 ①簡単に手に入る ②少々苦勞するが、なんとか手に入る
 ③ほとんど不可能だ ④絶対不可能だ
25. 「ガスパン遊び」をする前（使ったことがない人は施設入所前）、「ガスパン遊び」についてあなたはどのように思っていましたか？
 ①「ガスパン遊び」は知らなかった ②関心がなかった ③見てみたかった ④試してみたかった
26. これまでに一回でも「ガスパン遊び」を経験したことがありますか？ある場合は、初めて経験した年齢を選んでください
 ①経験がない ②10歳以下 ③11歳 ④12歳 ⑤13歳
 ⑥14歳 ⑦15歳以上 ⑧経験はあるが年齢はおぼえていない
27. 施設に入る前、最もしていた時で「ガスパン遊び」をどのくらいしていましたか？
 ①したことはない ②今まで1，2回くらい ③数回以上した ④ほとんど毎日
28. 「ガスパン遊び」をする前（したことがない人は施設入所前）、あなたは「ガスパン遊び」をどう思っていましたか？
 ①すべきではないと思っていた ②少々ならかまわないと思っていた
 ③かまわないと思っていた ④「ガスパン遊び」は知らなかった
29. 「ガスパン遊び」をすると質問15のような精神病状態や急性中毒死をおこすことをガスパン遊びをする前に（したことがない人は施設入所前）知っていましたか？「ガスパン遊び」でおこることとして知っていたものすべてに○をつけてください。
 ①精神病状態 ②急性中毒死 ③いずれも知らなかった
30. 「ガス」を使った結果、精神病状態やフラッシュバックを体験したことがありますか？
体験したことすべてに○をつけてください。（もともと「ガス」を使っていない人は③を選んでください）
 ①精神病状態 ②フラッシュバック ③「ガスパン遊び」はしたことがない
31. 「ガスパン遊び」をすると、精神病状態や急性中毒死をおこすことがあるのを知っていたら「ガスパン遊び」をしなかったと思いますか？（もともと「ガス」を使っていない人は③を選んでください）
 ①使わなかったと思う ②やはり使ったと思う ③「ガスパン遊び」はしたことがない
32. この施設を出た後、「ガスパン遊び」はやりないと思いますか？
 ①絶対やりないと思う ②多分やりないと思う ③多分やると思う ④絶対やると思う
33. 「③多分やると思う」「④絶対やると思う」と答えた人は、その理由を以下から選んであてはまることすべてに○をつけてください。
 ①誘われたらやると思うから ②今もやりたいと思っているから
 ③いやなことがあったらやると思うから ④なんとなくそう思うから
34. あなたの身近に大麻（マリファナ、ハシッシ、ハッパ）を吸った結果、病気や異常になった

- 人がいましたか？ ①いた ②いない
35. 入所前、大麻の使用に誘われたことがありますか？ ①ある ②ない
36. 施設に入る前、大麻を手に入れようとした場合、それはどの程度難しいことでしたか？
①簡単に手に入る ②少々苦勞するが、なんとか手に入る
③ほとんど不可能だ ④絶対不可能だ
37. 大麻を吸う前（使ったことがない人は施設入所前）、大麻についてあなたはどう思っていましたか？
①大麻は知らなかった ②関心がなかった ③見てみたかった ④試してみたかった
38. これまでに一回でも大麻を吸ったことがありますか？ある場合は、初めて経験した年齢を選んでください
①経験がない ②10歳以下 ③11歳 ④12歳 ⑤13歳
⑥14歳 ⑦15歳以上 ⑧経験はあるが年齢はおぼえていない
39. 施設に入る前、最もしていた時で大麻をどのくらい吸っていましたか？
①したことはない ②今まで1、2回くらい ③数回以上した ④ほとんど毎日
40. 入所前から大麻が法律で禁止されていることを知っていましたか？
①知っていた ②知らなかった
41. 大麻を吸う前（使ったことがない人は施設入所前）あなたは大麻をどう思っていましたか？
①法律で禁じられているから、すべきではないと思っていた
②法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思っていた
③法律で禁じられてはいるが、それを守る必要は全然ないと思っていた
42. 大麻を吸う前（使ったことがない人は施設入所前）、法律で大麻を禁止しているのをどう思っていましたか？
①当然だと思っていた
②しかたないことだと思っていた
③麻薬・覚せい剤とちがって、大麻くらい禁止しなくてもいいのではないかと考えていた
④そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思っていた
43. 大麻を吸うと質問15と同じ精神病状態や無動機症候群をおこすことを大麻を吸う前（使ったことがない人は施設入所前）に知っていましたか？大麻でおこることとして知っていたものすべてに○をつけてください。
①精神病状態 ②無動機症候群 ③いずれも知らなかった
44. 大麻を吸った結果、精神病状態や無動機症候群を体験したことがありますか？体験したことすべてに○をつけてください。（もともと大麻を使っていない人は③を選んでください）
①精神病状態 ②無動機症候群 ③大麻は使ったことがない
45. 大麻を吸うと精神病状態や無動機症候群をおこすことがあるのを知っていたら大麻を使わなかったと思いますか？（もともと大麻を使っていない人は③を選んでください）
①使わなかったと思う ②やはり使ったと思う ③大麻は使ったことがない
46. この施設を出た後、大麻はやらないと思いますか？
①絶対やらないと思う ②多分やらないと思う ③多分やると思う ④絶対やると思う
47. 「③多分やると思う」「④絶対やると思う」と答えた人は、その理由を以下から選んであてはまることすべてに○をつけてください。
①誘われたらやると思うから ②今もやりたいと思っているから
③いやなことがあったらやると思うから ④なんとなくそう思うから
48. あなたの身近に覚せい剤（スピード、エス）の結果、病気や異常になった人がいましたか？

- ①いた ②いない

50. 施設に入る前、覚せい剤（スピード、エス）を手に入れようとした場合、それはどの程度難しいことでしたか？

- ①簡単に手に入る ②少々苦勞するが、なんとか手に入る
③ほとんど不可能だ ④絶対不可能だ

51. 覚せい剤（スピード、エス）を使う前（使ったことがない人は施設入所前），覚せい剤についてあなたはどのように思っていましたか？

- ①覚せい剤は知らなかった ②関心がなかった ③見てみたかった ④試してみたかった

52. これまでに一回でも覚せい剤（スピード、エス）を使用したことがありますか？ある場合は初めて経験した年齢を選んでください

- ①経験がない ②10歳以下 ③11歳 ④12歳 ⑤13歳
⑥14歳 ⑦15歳以上 ⑧経験はあるが年齢はおぼえていない

53. 施設に入る前、最も使っていた時で覚せい剤（スピード、エス）をどのくらい使っていましたか？

- ①したことはない ②今まで1, 2回くらい ③数回以上した ④ほとんど毎日

54. 覚せい剤（スピード、エス）を使ったことがある人はどんな方法で使いましたか？（もと
もと覚せい剤をしていない人は④を選んでください）

- ①吸引 ②注射 ③吸引と注射の両方 ④覚せい剤は使ったことがない

55. 入所前から覚せい剤が法律で禁止されていることを知っていましたか？

- ①知っていた ②知らなかった

56. 覚せい剤（スピード、エス）を使う前（使ったことがない人は施設入所前）あなたは覚せい剤をどう思っていましたか？

- ①法律で禁じられているから、すべきではないと思っていた
- ②法律で禁じられてはいるが、少々ならかまわないと思っていた
- ③法律で禁じられてはいるが、それを守る必要は全然ないと思っていた

57. 覚せい剤（スピード、エス）を使う前（使ったことがない人は施設入所前），法律で覚せい剤（スピード、エス）を禁止しているのをどう思っていましたか？

- ①当然だと思っていた
②しかたないことだと思っていた
③そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思っていた

58. 覚せい剤によって質問15と同じ精神病状態やフラッシュバックが起こることを覚せい剤を使う前（したことがない人は施設入所前）知っていましたか？覚せい剤でおこることとして知っていたものすべてに○をつけてください。

- ①精神病状態 ②フラッシュバック ③いずれも知らなかった

59. 覚せい剤を使った結果、精神病状態やフラッシュバックを体験したことがありますか？
体験したことすべてに○をつけてください。（もともと覚せい剤を使っていない人は③を選んでください）
 ①精神病状態 ②フラッシュバック ③覚せい剤は使ったことがない

60. 覚せい剤を使うと、精神病状態^{せいしんびょうじょうたい}，フラッシュバックをおこすことを知っていたら覚せい剤を使わなかったと思いますか？（もともと覚せい剤を使っていない人は③を選んでください）

- ①使わなかったと思う ②やはり使ったと思う ③覚せい剤は使ったことがない

61. この施設を出た後、覚せい剤はやらないと思いますか？
 ①絶対やらないと思う ②多分やらないと思う ③多分やと思う ④絶対やと思う
62. 「③多分やと思う」「④絶対やと思う」と答えた人は、その理由を以下から選んであてはまることすべてに○をつけてください。
 ①誘われたらやと思うから ②今もやりたいと思っているから
 ③いやなことがあったらやと思うから ④なんとなくそう思うから
63. シンナー遊び、ガスパン遊び、大麻、覚せい剤のいずれかでも使ったことがある人に聞きます。これまで使った順にそれぞれの（ ）のなかに1から順に番号を付けてください。一つだけしかやっていない人は1のみ、二つやったことがある人は1から2まで、三つやったことがある人は1から3まで、というふうに関験のある薬物の数だけ使った順に番号をつけてください。
 (いずれも使っていない人は何もつけなくてかまいません)
 () シンナー遊び(シンナー、トルエン、ボンド、マニユキヤの除光液など)
 () ガスパン遊び(ライター用ガス、カセットコンロ用ガスなど)
 () マリファナ(大麻、ハッパ、ハシッシも同じ)
 () 覚せい剤(エス、スピード、シャブも同じ)
 () 睡眠薬、精神安定薬、咳止め液(病気治療以外の目的で)
 () その他の薬物(コカイン、MDMAなど)
64. 施設(児童自立支援施設)に入ったのはいつですか？
 ①小学4年生以下 ②小学5年生 ③小学6年生
 ④中学1年生 ⑤中学2年生 ⑥中学3年生
 ⑦高校・専門学校生 ⑧就職中 ⑨中卒後無職中
65. 家庭裁判所から呼び出されたことはありますか？ ①ある ②ない
66. 以下のようないわゆる非行について、したことがあるのはどれですか？したことがあるものすべてに○をつけてください。
 ①外泊や家出をした ②人にけがをさせた ③家からお金を持ち出した
 ④自転車を盗んだ ⑤人の物やお金を盗んだ ⑥ひったくり、カツアゲ
 ⑦家の中で暴れた ⑧暴走族に入った ⑨物や家に火をつけた
 ⑩学校をさぼった ⑪ハ・イクや自動車を盗んだ ⑫人の物やみんなの物をわざと壊した
 ⑬不良仲間とつき合った ⑭暴力団とつき合った ⑮根性焼きや入墨^{いりぼろ}をした
 ⑯無免許運転 ⑰性関係のこと ⑱その他
67. このような非行を、あなたが初めてしたのはいつですか？
 ①小学校入学前 ②小学1年生 ③小学2年生 ④小学3年生 ⑤小学4年生
 ⑥小学5年生 ⑦小学6年生 ⑧中学1年生 ⑨中学2年生 ⑩中学3年生
 ⑪中学卒業以後
68. リストカット(手首以外の腕や足やなども含みます)をしたことがありますか？
 ①ない ②1回ある ③2回から3回程度ある ④数回以上ある
69. 根性焼きをしたことがありますか？
 ①ない ②1回ある ③2回から3回程度ある ④数回以上ある

70. 以下のようなことはあなたに当てはまりますか？当てはまる番号に○をつけてください。

	5	4	3	2	1
(ア) 心からたよりに出来る友達が少ない	5	4	3	2	1
(イ) なんでも一生けんめいにとりくむ方だ	5	4	3	2	1
(ウ) 失敗しないかといつも心配だ	5	4	3	2	1
(エ) ぼんやりいろいろなことを考えるのが楽しい	5	4	3	2	1
(オ) 目立ちたがり屋である	5	4	3	2	1
(カ) 自分をつまらない人間だと思う	5	4	3	2	1
(キ) 会や集まりの時人よりすすんで働く	5	4	3	2	1
(ク) まちがいをしないかと、気になる	5	4	3	2	1
(ケ) よく空想にふける	5	4	3	2	1
(コ) じっとしているのがきらいだ	5	4	3	2	1
(サ) だれも私の話をよく聞いてくれない	5	4	3	2	1
(シ) きめられた仕事は責任を持ってやりとおす	5	4	3	2	1
(ス) ちょっとしたことをくよくよと気にする	5	4	3	2	1
(セ) できそうにもないことをぼんやり考えることがある	5	4	3	2	1
(ソ) あまりかっとならない	5	4	3	2	1

	5	4	3	2	1
(タ) まわりに親切な人が多い	5	4	3	2	1
(チ) 計画を立てて勉強している	5	4	3	2	1
(ツ) ひとから見られているとおちつかない	5	4	3	2	1
(テ) わけのわからないものにきょうみを持つ	5	4	3	2	1
(ト) おとなしい方だ	5	4	3	2	1
(ナ) 少々危険でもスリルのあるスポーツをするのが好きだ	5	4	3	2	1
(ニ) 少々危険でも活動的な仕事の方が好きだ	5	4	3	2	1
(ヌ) スリルのある活動や冒険（ぼうけん）的な行為は好きだ	5	4	3	2	1
(ネ) 成功する見込みがなくとも、あえて危険をおかす方だ	5	4	3	2	1
(ノ) スピード感のある乗り物が好きだ	5	4	3	2	1
(ハ) 流行に合わせて趣味を変えるのも楽しい	5	4	3	2	1
(ヒ) スキャンダラスな（世の中をさわがすような）話題が好きだ	5	4	3	2	1
(フ) 騒がしいが楽しい雰囲気（ふんいき）の中で踊るのが好きだ	5	4	3	2	1
(ヘ) 常にマスコミに接して新しい情報を取り入れるのが好きだ	5	4	3	2	1
(ホ) はらはらさせられることがあっても飽きさせない人と					

付き合うのが楽しい	5	4	3	2	1
(マ) できれば様々な体験をしてみたい	5	4	3	2	1
(ミ) 目新しくて変化に富んだいろいろな事をしてみたい	5	4	3	2	1
(ム) 興奮したりわくわくしたりすることは好きだ	5	4	3	2	1
(メ) 特殊（とくしゅ）で変わった仕事をしてみたい	5	4	3	2	1
(モ) できるだけ体験のできるアルバイトをしてみたい	5	4	3	2	1

質問は以上です。ありがとうございました。

分 担 研 究 報 告 書
(2－1)

薬物関連精神障害者専門病院利用者の予後についての研究

分担研究者 小林桜児 神奈川県立精神医療センターせりがや病院¹⁾
研究協力者 上條敦史 横浜市立大学医学部精神医学教室
松本俊彦 国立精神・神経センター 精神保健研究所
奥平謙一¹⁾、遠藤桂子¹⁾、大槻正樹¹⁾

研究要旨 任意入院・開放病棟を基本とする薬物依存専門病院において、入院による断薬リハビリプログラムに参加した利用者の退院後予後調査を実施した。調査対象は平成14年7月から16年12月までの期間、神奈川県立精神医療センターせりがや病院を退院した者、計100名である。先行調査として入院時に、物質乱用歴や過去の問題行動、被虐待歴、さらに抑うつ症状や解離、食行動異常、ADHDなどに関する評価尺度などの項目を含む自記式調査票を同意者に配布し、回答を得た。さらに、退院後2年目または3年目に当たる対象者に対して、平成17年12月から18年9月までの期間、薬物使用歴の他、生活状況、自助グループ利用状況などの項目を含む自記式予後調査用紙を郵送し、返送による回答を得た。返送の得られなかった対象者については、追跡調査として事前に同意を得た上で電話による聞き取り調査を行った。その結果、調査対象者総数100名中、最近3ヶ月以内の薬物使用歴に関して情報の得られた者は計61名(予後判明率61%)であった。退院後2年または3年予後の判明した61名中、最近3ヶ月以内に薬物乱用歴が無いと返答した断薬群は44名で、72%に達した。他方、再乱用ありと返答した者は9名(15%)、勾留・服役中の者が5名(8%)、死亡が確認された者は3名(5%)であった。さらに予後判明者を断薬群と非断薬群(再乱用、勾留・服役、死亡)に二分し、先行調査項目や他の予後調査項目との関連について統計学的検討を加えた。その結果、入院時の自記式調査で希死念慮ありと返答していた群の方が、無い群よりも有意に断薬率が高かった($p<0.05$)。その他の先行調査項目については有意差を認めなかった。一方、薬物乱用歴以外の予後調査項目と断薬予後の関連については、断薬群と生活の規則正しさとの間には有意な関連性が認められた($p<0.05$)。しかしそれ以外の予後調査項目とは有意差が認められなかった。今回の調査結果から、薬物依存症者の退院2~3年後断薬率は約7割に達し、入院治療後の予後が比較的良好なこと、入院時の希死念慮の存在が、退院後の回復に向けた原動力となりうること、そして退院後の規則正しい生活が断薬と直接関連していることなどが示唆された。

A. 研究目的

全国的に薬物依存症の入院治療を専門に扱う医療機関は数少なく、従来は主に薬物乱用に伴う一過性の中毒性精神病症状に対して、専ら非自発的な入院治療がおこなわれてきたのが実情である。しかし精神病症状の消失や、隔離による強制的な断薬だけでは必ずしも依存症の回復に結びつかないことは、覚せい剤取締法違反者における再犯率の高さからも明白な事実である。

任意入院・開放病棟を基本とする依存症専門病院では、治療目標を「薬物に頼らない生き方への変革」に設定し、退院後の継続的な断薬実現に向けて、精神科薬物・精神療法にとどまらず、ケー

スワークや、自助グループの紹介などを積極的に行ってきた。

しかし任意入院・開放病棟という条件下で入院してくる薬物依存症者の場合、しばしば気分障害や衝動制御障害などの非精神病性精神障害を合併しているため、病棟適応に問題をきたし、比較的短期間で退院となることも多い。そのまま外来治療にもつながらず、治療中断に至るケースも認められる。このため、依存症専門病院を退院した薬物依存症者の断薬予後に関しては、未だ実証的な研究が乏しく不明な点が多い。

本研究では、任意入院・開放病棟を基本とする依存症専門病院に入院した薬物依存症者の退院後

の予後を追跡調査するとともに、入院時点でのプロフィールとの関連性についても検討したのでここに報告する。

B. 研究方法

1. 対象

対象は、平成 14 年 7 月から 16 年 12 月までの期間に、アルコール・薬物依存症の治療を専門とする神奈川県立精神医療センターせりがや病院を退院したアルコールを除く物質関連障害者のうち、郵送および電話による予後調査に対して同意を書面で得ることができた者、計 100 名である。内、男性は 69 名、女性 31 名であった。

2. せりがや病院における入院治療

せりがや病院における薬物依存症の入院治療期間は原則として 1 ヶ月間と設定されている。任意入院が基本であり、保護室で通常は 2 泊 3 日の間、解毒および病態観察を行った後、大部屋に転室してもらう。その後、週間スケジュールに沿って治療プログラムに参加する。プログラムの内容は、ミーティング形式の集団精神療法や、講義形式の疾患教育、運動療法、自助グループのメッセージなどからなる。

2 週間以内は病院敷地内で過ごしてもらい、3 ～ 4 週目は病院から歩いて 1 時間以内の範囲までは外出許可となるような任意の行動契約を結んでいる。外泊訓練は一切行わない。

退院希望時には、本人の意思を尊重し、面接による確認の上、精神病症状影響下にあるなど医療保護入院の適応でない限りは、応じる場合がほとんどである。薬物の持ち込みや度重なる病棟規則違反などは、病棟の治療構造を守るために速やかに強制退院となる。

退院後は外来通院の他、DARC などの自助グループへの通所や入寮につながるよう入院中から支援していく。

3. 先行調査

先行調査として、平成 14 年 6 月以降、せりがや病院に物質関連障害で入院した患者に対し、入院時に自記式の質問用紙を配布し、下記の項目について評価した。

なお、質問用紙に加えて、退院後に郵送または電話にて予後調査を行う旨、文書で告知し、書面

にて同意を得た。

1. 年齢・性別・身長・体重・最終学歴
2. 喫煙・飲酒開始年齢、現在の喫煙・飲酒習慣
3. アルコール・薬物使用歴
4. 自傷行為の経験、人や物に対する暴力行為
5. 万引きの経験
6. 希死念慮と自殺企図の経験
7. 性的・身体的虐待を受けた経験
8. Beck Depression Inventory (BDI)
9. Wender Utah Rating Scale (WURS)
10. Bulimia Investigatory Test of Edinburgh (BITE)
11. Adolescent Dissociative Experience Scale (A-DES)

4. 自記式調査尺度について

上記のうち、最後の 4 項目はいずれも非精神病的な精神障害を評価する目的で追加した自記式調査尺度である。BDI は一般に使われているうつ病の自己記入式調査尺度であり、特に説明は要しないと思われるため、省略する。

Wender Utah Rating Scale(WURS)は、Wender らが成人 AD/HD の研究のため作成した評価尺度である⁷⁾。回答は 5 段階から選び、100 点満点になるよう作られている。

成人サンプルでは、WURS 得点のカットオフ 36 点の時、AD/HD 群の 96%ならびに正常対照群の 96%が同定可能で、カットオフ 46 点だと、AD/HD 群の 86%と正常対照群の 99%が同定可能といわれている⁷⁾。薬物依存症では、しばしば成人 ADHD の合併が論じられており、本研究でも WURS の日本語版を用いて評価した。

Bulimia Investigatory Test of Edinburgh (BITE)は神経性大食症の評価尺度として、Henderson と Freeman によって開発されたものである⁵⁾。日本語版の有用性と妥当性は中井らにより検討されている⁶⁾。25 点以上の得点の場合、96%の特異度で神経性大食症の臨床診断と一致をみる。薬物依存と合併する摂食障害は神経性大食症が多いため⁸⁾、本スケールを採用した。

最後に A-DES は解離体験スケール (Dissociative Experience Scale: DES)¹⁾ を改良して作成されたもので、30 項目からなる自記式評価尺度である。DES よりも集計が容易で、4 点以上では、ほぼ必ず何

らかの病的な解離症状が存在するといわれている²⁾。自傷者の解離傾向に関して、今回使用した日本語版は A-DES を用いた海外の研究との交差妥当性が確認されている^{3, 4)}。

5. 予後調査

平成 17 年 4 月より予後調査用紙の項目を検討、作成すると共に、書面にて予後調査に同意の得られた対象者を選び出し、調査用紙を郵送するための住所録を作成した。

予後調査項目は下記のとおりである。

1. 居住形態と同居人の有無
2. 自助グループの利用状況
3. 日常生活の規則性
4. 退院後の職歴
5. 退院後の薬物使用状況と使用動機
6. 断薬継続可能であった場合、その理由
7. 飲酒状況
8. 入院治療に対する評価

平成 17 年 12 月より、退院後 2 年または 3 年目に当たる患者に対し、予後調査用紙の郵送を開始した。1 ヶ月以上経過しても返送の無い方については、平成 18 年 2 月より電話で直接聞き取り調査を行った。

平成 18 年 4 月以降、追加で郵送調査を行い、同様に 1 ヶ月以上返送の無い方に対して、同年 5 月以降、電話調査も並行して行った。

平成 18 年 10 月以降、調査結果を集計するとともに、先行調査項目と予後調査項目との関連性について、SPSS ver12.0 または 15.0 を用いて統計学的分析を行った。

C. 研究結果

1. 先行調査

(1) 入院時年齢は最年少 20 歳、最高齢 62 歳であり、平均 34.4 歳 $\pm$ 8.8 であった。

身長、体重から計算される BMI については、男性が平均 24.1 $\pm$ 4.6、女性が平均 23.0 $\pm$ 4.3 で、統計学的に有意な性差は認められなかった。

(2) 学歴は最も多かったのが「高校中退」で 100 名中 28 名を占め、次いで「中卒」と「高卒」が 25 名ずつ、「大卒」は 7 名であった。(表 1)

(3) 喫煙開始年齢の平均は 14 歳 $\pm$ 2.6、平均

初飲年齢は 15 歳 $\pm$ 3.6 であった。

(4) 入院時に喫煙習慣あり、と答えた者は 88 名で有効回答 97 名中 90.7%を占めた。

(5) 同様に飲酒の習慣がある者は 44 名で、有効回答 96 名中 45.8%を占めた。習慣飲酒者の 1 週間当たりの飲酒回数は平均 5.2 回であった。

(5) 薬物乱用開始年齢は平均 20 歳 $\pm$ 7.8 で、最年少が 10 歳、最高齢は 47 歳だった。

(6) 薬物事犯での初回逮捕年齢は平均 22.3 歳 $\pm$ 7.4 だった。同罪名での初回服役年齢は平均 26.9 歳 $\pm$ 9.3 だった。

(7) 入院時の主たる乱用物質の内訳は、覚せい剤が最も多く、対象総数 100 名中の 54 名を占め、次いで向精神薬が 21 名、有機溶剤が 9 名と続いた。(表 2)

表1 最終学歴

	女性(人)	男性(人)	合計(人)
中卒	7	18	25
高校中退	10	18	28
高卒	9	16	25
専門学校中退	0	1	1
専門学校卒	2	4	6
短大卒	1	0	1
大学中退	1	4	5
大卒	1	6	7
大学院卒	0	1	1
合計	31	68	99

表2 主たる乱用薬物

	女性(人)	男性(人)	合計(人)
覚せい剤	18	36	54
有機溶剤	0	9	9
咳止め	0	4	4
向精神薬	9	12	21
大麻	0	2	2
ヘロイン	0	1	1
ブタンガス	2	0	2
LSD	0	1	1
マジック	1	0	1
マッシュルーム	0	1	1
市販感冒薬	0	1	1
その他	1	3	4
合計	31	69	100